

# 指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

## 1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 5 年度)

施設の名称	東大阪市立郷土博物館			指定期間	4	年度～	4	年度	
				指定の方法	複数施設を一括指定管理				
施設所管課	人権文化部 文化室 文化財課			連絡先	06-4309-3283				
設置目的	郷土の文化的遺産を公共の利用に供し、市民の文化の向上に資するため設置するもの。								
施設内容・業務内容等	東大阪市立郷土博物館の施設は、小展示室、大展示室、ロビー、事務室、収蔵庫等がある。併設施設として、山畑古墳群がある。指定管理者には施設の維持管理と展示業務や各種体験事業等活用業務を委託している。								
指定管理者	公益財団法人 東大阪市文化振興協会			連絡先	072-984-6341				
人員体制	正規職員	3	人	パート・アルバイト	0	人	その他	0	人

博物館3人、総務課兼務の職員が1人

## 2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)	次年度(見込)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理					
供用(開館)日数	243	231	271	休館	休館			
指定管理委託料(千円)	25,375	25,375	25,375					
利用状況指標	1 入館者数(人)	2,332	1,958	5,064	補足説明 新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館。 R2.3.2～R2.5.22 R3.4.25～R3.6.20			
	2 出前等館外参加者(人)	12	36	39				
	3					補足説明		

### 3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が中間点以上、  
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。  
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	新型コロナウイルス感染症対策を行いながらイベントを工夫して実施し、事業計画どおり実施できた。危機管理マニュアルも整備され、市民の安全確保が図られていた。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	S	館内の清掃等は適切に行われており、清潔な施設として保たれている。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	利用者アンケートを実施し、利用者の意見を把握できている。展示の解説文やパンフレット等、多言語の表記ができていないため、外国人利用者へのサービス向上にも対応する必要がある。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	ホームページのリニューアルを行い、市民への情報発信を積極的に行っていた。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S	令和4年度より入館料が無料になったこと、また当初有料で予定していた特別展示も、令和4年度末での休館を見据え、無料開催により一人でも多くの方に観覧いただくよう事業手法を見直すことにより、入館者数はコロナ禍前より大幅に増加した。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	法令や各種規則等を理解し遵守できている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定)  A	令和4年度より入館料が無料になったことも影響し、入館者数はコロナ禍前より増加した。ただし、参加者数が少ないイベントもあったので、他団体の同種施設等を参考に、市民のニーズに合わせたイベントの企画や外国人利用者への対応ができれば、より評価できた。